



<https://recruit.beny.co.jp/>



<https://www.beny.co.jp/>

紅屋商事株式会社

（本社）
〒038-0003 青森県青森市大字石江字三好130番1 カブセンター西青森店2階
（弘前本部）
〒036-8084 青森県弘前市高田4丁目2番10号 カブセンター弘前店2階
スーパーマーケット事業部 TEL0172-29-5777 FAX.0172-29-5222
ドラッグストア事業部 TEL0172-27-7766 FAX.0172-27-7840



紅屋商事株式会社 会社案内

日々の暮らしをより豊かに

「ちょっとした贅沢」「たくさん買える喜び」「ワクワクする楽しい体験」

紅屋商事株式会社は、日本の企業としては珍しいFood&Drugのチェーン店を、青森県と秋田県で展開しております。

当社はもともと衣料品店として青森市で創業いたしましたが、時代の変化にともない、よりお客様に密着した、生鮮食品をはじめとする食品、ドラッグ、調剤、化粧品のチェーン店として変化してきました。過去の成功にとらわれることなく、お客様の声を聞き、常に進化していくのが当社の経営方針の根幹です。

今後、少子高齢化、オーバーストア、ネット販売(EC)など、競争がますます激しくなると思います。さらに変わっていくお客様の要望にお応えするために、さらなる革新を続けていきます。

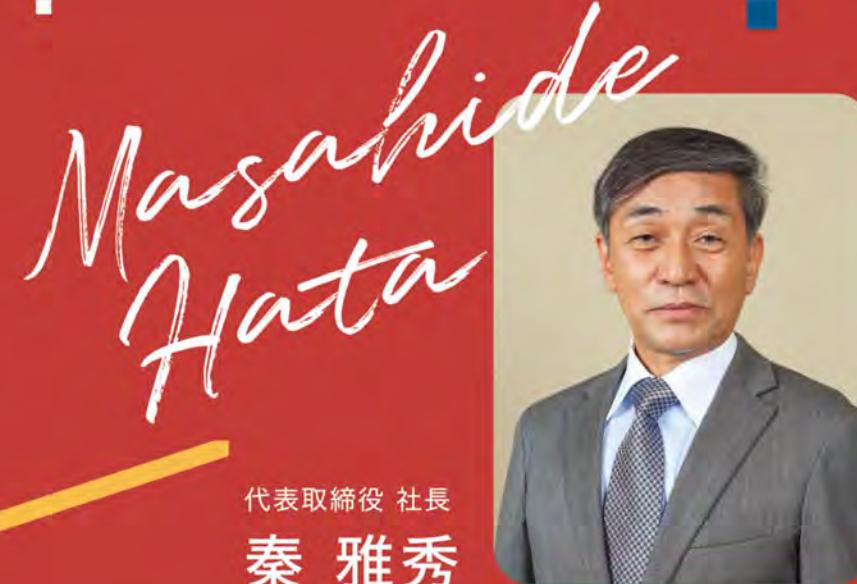
当社が目指すのは、『感動企業』です。お客様に感動や楽しさを提供できるように、「安心、安全、おいしい、健康に良い商品の仕入・開発」、「売場でのきめ細やかな商品情報の発信」などに力を尽くしております。

また、お客様の声を聞き、速やかに応えられる人材の育成のため、「店舗の公平な審査や評価」、「コンテストの開催・表彰制度」を通して、社員の達成感の充実を目指しています。さらに、連続休暇一週間の制度の導入、健康賞与など、社員が働きやすい職場環境作りにも力を注いでおります。

お客様と社員が感動する企業「BENIYA」作りにこれからも努力していきます。

当社は、地域未来牽引企業に選定されました。これからは、黒石市との協力のもとに行なっている物流センタープロジェクトなどを通して、青森県の地域の企業の未来を牽引して、地域にさらなる貢献をしてまいります。

今後も、紅屋商事オリジナルの食育活動や医療機関と連携した調剤薬局などを通してさらなる地域の発展とともに、事業拡大を目指してまいりますので、紅屋商事株式会社をよろしくお願ひいたします。



お客様の 豊かな暮らしの ために

紅屋商事株式会社は、
「日々の暮らしをより豊かに」を社是として、
スーパーマーケットとドラッグストアの複合店舗である
「カブセンター」、スーパーマーケット「ベニーマート」、
スーパードラッグストア「メガ」を展開しております。

お客様にワクワク楽しい
お買い物をしてもらうために

SM事業部

スーパーマーケット事業部

P.5へ

セルフメディケーション時代を支える
一歩先のスーパードラッグストアへ

DgS事業部

ドラッグストア事業部

P.7へ

お客様に感動を「与える」
お店を提供

紅屋の取り組み

P.9へ

紅屋のオリジナリティあふれる提案で
地域に貢献していきます

社会貢献活動

P.11へ

自分の目標に向かって
突き進んでほしい



Food &
Drug

カブ

積極的に挑戦していくことを
大切にしてほしい



カブセンター
大野店
一般食品部門 クルー
清川 修太郎
キヨカワ シュウタロウ

メガ小柳店
副店長
高橋 幸平
タカハシ コウヘイ

私は一般食品部門で前年の利益を超えるために何を売り出すか、どういう売場を作ろうかということに創意工夫を凝らしています。2022年12月には、仲間といろいろな案を出し合い、ダイナミックな売場を作った結果、ラーメンの売上が前年の2.5倍を記録することができました。頭も体力も使う仕事で、自分の頑張りが具体的に数値に出てきます。プレッシャーもありますが、お客様に「ここにしかない、ここで買いたい」と言ってもらえることが、1番の喜びです。将来的には数値、売場、従業員の管理まで忙しい中でも気配りができる、バイヤーに1番頼りにされるチーフになりたいと思っています。新入社員の方々には、楽しみながらも向上心を持って自分の目標に向かって突き進んでほしいと思います。

薬は現代人の健康的な生活に欠かせないものであるとともに、専門的な知識がないと扱うことができないものです。その知識を自ら身につけ、多くのお客様に安全にお薬をご提供できることにやりがいを感じています。現在は副店長となり、店全体に気を配って、どれだけ円滑に業務を回せるか、サポートできるかを自分の課題として取り組んでいます。私はこれまでたくさんのミスや失敗をしてきましたが、なぜ失敗したのかを理解することで仕事を覚え、次につなげてきました。積極的に仕事に関わり、失敗しても誠意のある対応をすることでお客様や仲間との信頼関係を作ることができると思います。紅屋に入社する皆さんにはぜひ、自分を出して、失敗を恐れず、積極的に挑戦していくことを大切にしてほしいと思います。

先輩社員の想い

お客様に ワクワク楽しいお買い物を していただくために

SM事業部(スーパーマーケット事業部)では、主にカブセンター・ベニーマートの食品、衣料品、及び雑貨部門に関し、仕入れ及び店舗の運営を担当しております。日々のお買い物に楽しさやワクワク感を体験いただける売場作りに取り組んでおり、青森県を目指す短命県返上プロジェクトを支援しながら、地産地消を推進しております。セレクト商品や紅屋オリジナル商品を季節感を演出した様々なイベントを通じて提供しております。お客様に「このお店に来てよかった」「このお店にまた来たい」と思っていただけるような、満足度の高いサービスを創造し提供を続けてまいります。



Cub Center



商品



地産地消の推進をコンセプトとし、原料や製法にこだわった高品質な「紅屋オリジナル商品」を店舗販売およびネット販売しています。近年では、アメリカの会員制スーパー「コストコ」の大型商品を販売する「コストコフェア」も人気です。

売場作り



セレクト商品の配置に工夫を凝らし、季節感あふれる売場作りを行っております。朝一番に水揚げされた魚を漁師さん自ら販売する「あおもりの肴フェア」や、全国の有名なパンや物産品をお取り寄せしたフェアを立ち上げ、ご好評いただいております。

イベント



各店舗の休憩スペースや駐車場を活用し、季節のイベントや地域の行事に合わせて、店頭イベントを数多く開催しています。スーパーマーケットが単純に商品を販売する場としてではなく、子どもからお年寄りの方まで楽しめる場となるよう力を入れています。

メーカータイアップ



メーカー様とタイアップし、インスタントラーメンを粉から作ったり、だしについて学んだりできるお客様参加型イベントを開催しています。商品の作り手であるメーカー様、その商品を販売する紅屋、そしてそれを購入するお客様との三者交流を通して、地域の皆様に愛される店舗運営に努めています。

レストラン事業



新事業の一環として、カブセンター五所川原店にてステーキ専門店「グリルタクミ」をオープンいたしました。低温熟成したこだわりのお肉を使用し、上品な店舗外観と、リラックスできるイートインスペースでお客様をおもてなしします。お客様の日々のお買い物に楽しさとワクワクを提供し五所川原店はこれからも地域の皆様に愛される店舗を目指します。

産直コーナー



地域の農家の方々から直接提供いただく、産地直送コーナーを開設しております。生産者の方々を写真でアピールすることで、とれたての、安心・安全な商品を紹介しております。店舗ごとに異なる農家と契約しており、地域ごとに異なる旬の野菜を多種多様に提供しております。



セルフメディケーション 時代を支える 一歩先の スーパードラッグストアへ

ドラッグストア事業部では、「メガ」の店舗運営のほか、スーパーマーケットとの複合店舗「カブセンター」「ベニーマート」においても営業を行っております。地域のお客様の「健康」を守り、「美」を提案しています。地域ナンバーワンの「酒の専門性」と、「食料品・日用品の生活便利品をカバーする利便性」と「生活必需品の安さ」で、お客様の期待に応えるお店を目指しております。セルフメディケーションを推進するために、気軽に相談できる専門性の高いスタッフが接客します。店内は鮮やかな装飾をしたPOPにて、高品質な商品の特徴をわかりやすくお伝えします。



こだわりの商品



仕入担当バイヤーがお客様視点でリーズナブルなお買い得商品から高性能・高品質のプレミアムな商品まで幅広く取り揃えしております。特にお酒の品揃えに関しては日本トップクラスだと自負しています。また、暮らし良好や日本ドラッグチェーン会(NID)などと共に開発した商品や地元企業とのコラボ商品の展開など独自性の高い商品も多数扱っております。

地域 No.1 店舗



出店地域によっては1店舗で業界売上シェアNo.1を獲得しております。メガしか手に入らない商品やサービスを求めて、地元だけでなく遠方からお客様が訪れるのも珍しくありません。全地域でオンラインリーワンのスーパードラッグストアを目指し商品・サービスの質を追求していきます。

インパクトある売場



年2回社内売場コンテストの開催をするほど売場作りに力を入れております。『こだわりの商品をお客様に知って手に取ってほしい』『買い物を通じて笑顔になってほしい』そんな思いから迫力や季節感を感じられ、商品の特徴や使い方が分かりやすく、お客様を迷わせない売場を作成しております。

ECサイトの運営



大手モールにてECサイトの運営をしております。医薬品から雑貨、お酒、青森県産品の販売まで幅広く展開しています。お客様との繋がりを重視し、デジタルデータの活用を通じて、消費者の興味関心や欲するものを捉え、的確なマーケティングを実現していきます。青森・秋田の良いものを全国へ。

メーカータイアップ



年間を通じ多くの企業様とタイアップし、対象商品購入レシートで応募できる抽選を実施しております。毎回ありがたいことに多くのお客様にご参加いただいており、好評の企画となっております。日頃ご利用いただいているお客様に感謝の気持ちを還元し『楽しんでいただきたい』そんな思いで企画しております。

デジタルマーケティング



自社アプリ『ベニアプリ』では支払いだけでなく、チラシの確認や毎月お得なクーポンの配布、電子レシートの表示など機能満載。中でもベニアプリ抽選会は多くの企業様に協賛いただき豪華景品が当たる人気企画となっております。お客様の利便性の追求はもちろんですが、イベントの実施でお客様への感謝の気持ちを還元していきます。

お客様に感動していただける商品やお店を提供し、感謝される人になりたい、そして、信頼され称賛される会社へと成長していきたい。

紅屋は、あらゆる機会を活用して、私たちのビジョンを力強く実現する人材を育成しています。お客様の声を聴き、お客様の求める価値を創造していくよう、人材育成プロセスを構築しております。また、海外技能実習生の受け入れや電子マネーの導入などの新しい事業にもどんどん挑戦し、より高い価値の存在となることを目指していきます。



入賞目指して日々技術を磨く

〈売場コンテスト〉

発想豊かで魅力ある売場作りは、店舗および部門運営の要です。カブセンター・ベニーマート・メガ各店では、お盆と年末に季節に合わせたテーマで売場コンテストを実施しており、審査は経営幹部と新入社員が行います。各店舗各部門は、日頃磨いた技能を駆使して、売場作りNo.1を競い合います。



お得な情報をいつでも無料で配信

〈LINE@サービス〉

LINE@サービスを活用し、売り出し開始前日の夜にデジタルチラシを配信したり、クーポンのプレゼントを不定期で行なったりとお客様にお得な情報をお届けしております。現在では、107,000人以上のLINE@会員様にご利用いただいており、今後さらなる新しい企画を提案できるよう努めてまいります。



スキルとリーダーシップを身につける

〈教育〉

多くの従業員が働く店舗の運営は、店長やバイヤーをはじめとする中堅社員に任せられています。適正な店舗及び部門運営に必要な知識、スキル、リーダーシップ等を確実に身につけるための各種研修や、定期的なコンサルタントによる教育を実施しています。



世界で活躍する人材を育てる

〈ベトナム技能実習生〉

2018年12月より、ベトナムから60名以上の技能実習生を店舗へ受け入れてまいりました。海産部門、惣菜部門などの現場で経験を重ね、また日本の文化にも触れてもらいながら、帰国後に母国で活躍できる人材となるようキャリアアップのお手伝いをしています。



社会の変化に柔軟に対応する

〈電子マネー「BENICA」誕生〉

2018年2月より、紅屋独自電子マネー「BENICAマネー」決済サービス付きポイントカード「BENICA」の運用を開始しました。スマートフォンアプリの「ベニアアプリ」と連携することで、毎月発行される割引クーポンを利用でき、楽々お買い物ができるようになりました。キャッシュレス決済還元事業やマイナポイント事業にも参画し、「BENICAマネー」の利便性を常に訴求しております。



社会貢献活動



オリジナリティあふれる提案で 地域に貢献していきます。

紅屋では、食育活動の一環として、アメリカ発の健康増進運動5ADay(ファイブ・ア・デイ)教室や、毎月19日付近の土曜日を「食育の日」として大試食会等の食育イベントを一部店舗で開催しております。食育コミュニケーター有資格者を配置し、日々の献立を提案し、旬の食材を食べることによる健康面での利点等の具体的な情報を発信しております。家族の健康に悩むお客様へのアドバイスも行い、常に食の大切さと楽しさを伝えております。今後も、野菜摂取の向上や、減塩への取り組み等、青森県が取り組む短命県返上プロジェクトに対しての提案を行うことで、地域社会へ貢献して参ります。



食育活動



Beny's Kitchen



食に関する正しい知識の発信や様々な体験を通じて、子供からお年寄りの方まで、より多くの人々の豊かで健康的な食のお手伝いをすることをコンセプトにしています。単なる商品のやり取りではなく、コミュニケーションを大切にして「食」を通じて地域の関係を深め、「紅屋のファン」を増やすことを目標に日々活動しております。2022年11月1日からは、お客様が紅屋の店舗を快適にご利用いただけるよう、お役立ち情報を提供するウェブサイト「Beny's Kitchen/ベニーズキッチン」を運営しております。旬の食材や紅屋オリジナル商品を使ったレシピや健康的な食生活の情報を提案することで、お客様が「日々の暮らしをより豊かに」を実感いただけるよう、お買物のお手伝いをしております。

協賛活動



Blancdieu
HIROSAKI FC

紅屋は、青森県プロバスケットボールチーム「青森ワッツ」、社会人サッカークラブ「ブランデュー弘前FC」、小学生バスケットボールクラブ「S-Club」、「弘前・白神アップルマラソン」などのスポーツチームやイベントに協賛し、青森県のスポーツ振興に寄与しています。2021年からはS-Clubと提携し、「BENIYA CUP」というミニバスケットボール大会を主催しており、同大会ではお菓子のトロフィーを懸けた熱戦が繰り広げられます。

青森県との コラボレーション



青森県が推進する塩分軽減の取り組み「だし活+だす活事業」や青森県産商品を推進する「青森県産愛用キャンペーン」に積極的に参加することで、地域の皆様への健康的な食生活のサポートを行なっております。食育活動を通じて、定期的に青森県とのコラボレーション企画を実施し、青森県産商品の訴求を行なっております。

テレビ番組との コラボ



県内のテレビ局と契約し、カブセセンター・ベニーマートをロケ地として、人気番組内でコンシェルジュが季節の旬の食材や紅屋オリジナル商品などを紹介しております。また、商品券をプレゼントする応募企画を実施したり、時節のイベントやキャンペーンの開催を告知したりすることで、お客様にお得な情報を発信しております。



地域に密着した 取り組み



2022年、青森県と「災害時における物資の供給に関する協定」を締結しました。紅屋が所有する黒石IC物流センターを活用し、災害時にも継続して食料を支給できる体制を整えています。更にコロナ禍で困窮している学生や市に、マスクや除菌剤の寄付、地域振興券事業に寄付金を贈呈する等、地域の皆様の生活を支援してきました。これからも地域に必要とされる紅屋であるために、地域の声に応えてまいります。

紅屋のあゆみ

1959	●青森市古川美法にて会社設立、資本金400万円とする。 代表取締役社長に秦計機雄就任。	2011	●ドラッグストアメガ西青森店を移転し、Food&Drugカブセンター西青森店を開業。
1963	●弘前市土手町にて、弘前店を開業。	2012	●第7回 食育コミュニケーション活動発表全国大会「食育販売コンクール賞」受賞 ●平成24年度地産地消優良活動表彰「東北農政局長賞」受賞
1969	●本社青森店を、地上5階建に増築する。	2013	●ドラッグストアメガ城東北店を開業。 ●FAN(フードアクション・ニッポン)アワード2013 流通部門「優秀賞」受賞 ●第8回 食育コミュニケーション活動発表全国大会「食育コミュニケーション活動大賞」「地域密着大賞」W受賞 ●第6回 ベスト店長大賞 既存店部門 カブセンター弘前店 佐藤 秀一氏 選出
1973	●弘前店を、地上6階建に増築する。	2014	●ドラッグストアメガ勝田店を開業。 ●Food&Drugカブセンター長苗代店を開業。 ●FAN(フードアクション・ニッポン)アワード2014 流通部門 入賞 ●第9回 食育コミュニケーション活動発表全国大会「食育コミュニケーション活動大賞」「地域密着大賞」W受賞
1981	●弘前市中野において、スーパーマーケットベニーマート松原店を開業。	2015	●メガ東青森店をスクラップ&ビルトで開業。 ●第10回 食育コミュニケーション活動発表全国大会「地域密着大賞」受賞
1988	●弘前市福田(現 高田)において、土日型スーパーセンターカブフーズ弘前店を開業。 ●ドラッグストアメガ城東店を開業。	2016	●カブセンター神田店にメガ調剤薬局を開設。 ●第11回日本食育コミュニケーション協会全国大会「健康提案大賞」受賞
1993	●ドラッグストアメガ黒石店を開業。 ●ドラッグストアメガ東青森店を開業。	2017	●ドラッグストアメガ小柳店を開業。
1995	●ドラッグストアメガ能代店を開業。 ●土日型スーパーセンターカブフーズ柏店を開業。	2018	●ドラッグストアメガ弘前駅前店を開業。 ●青森県「健やかカディスプレイコンテスト最優秀賞」カブ・シンフォニープラザ店「優秀賞」カブセンター神田店、カブセンター柏店受賞 ●代表取締役社長に秦雅秀就任。 秦勝重は代表取締役会長に就任。
1996	●ドラッグストアメガ観光通店を開業。 ●ドラッグストアメガ石江店を開業。	2019	●ドラッグストアメガ土崎店内に調剤薬局を開設。 ●Food&Drugカブセンター五所川原店開業。
1997	●スーパーマーケットベニーマート黒石店を開業。 ●代表取締役社長に秦勝重就任。 秦計機雄は代表取締役会長に就任。 ●代表取締役専務に秦雅秀就任。	2020	●黒石IC物流センター稼働。 ●ドラッグストアメガ新国道店を開業。
1999	●スーパーマーケットベニーマート観光通店を開業。 ●ドラッグストアメガ西青森店・土崎店・仁井田店を開業。	2021	●ドラッグストアメガ富田店を開業。
2000	●ドラッグストアメガ能代中央店を開業。	2023	●カブ・シンフォニープラザより、カブ・マルシェ江陽店へ移転・開業。
2001	●メガ能代中央店開業に伴い、メガ能代店閉店。 ●カブフーズ柏店土日型から毎日営業型カブセンター柏店に変更。		
2002	●カブフーズ弘前店メガ城東店をスクラップ&ビルトし、Food&Drugカブセンター弘前店を開業。		
2004	●Food&Drugカブセンター神田店を開業。		
2005	●カブセンター弘前店にメガ調剤薬局を開設。		
2006	●Food&Drugカブセンター大野店を開業。		
2007	●Food&Drugカブセンター柏店を全面改装し、開業。 ●ドラッグストアメガ黒石店をスクラップ&ビルトで開業。		
2009	●Food&Liquorカブ・シンフォニープラザ店を開業。		

企業DATA

社名	紅屋商事株式会社	代表者	代表取締役 会長 秦 勝重 代表取締役 社長 秦 雅秀
本社	〒038-0003 青森県青森市大字石江字三好130番1 カブセンター西青森店2階	従業員数	1,439名(2022年12月31日付)※パート社員も含む
本部	〒036-8084 青森県弘前市高田4丁目2番10号 カブセンター弘前店2階 SM事業部 (0172)29-5777 DgS事業部 (0172)27-7766	決算期	年1回 3月期
創業	昭和26(1951)年	取引銀行	みちのく銀行・青森銀行・ みずほ銀行・三菱UFJ銀行 日本政策金融公庫
設立	昭和34(1959)年	事業内容	ショッピングセンター経営 スーパーマーケット経営 スーパードラッグストア経営及び調剤薬局の経営
資本金	5000万円	取扱商品	食料品、医薬品、衣料品、日用雑貨、酒類、化粧品
年間売上高	約475億(2022年3月期)		

〈カブセンター〉SC

- 弘前店 ●神田店 ●大野店 ●西青森店
- 柏店 ●長苗代店 ●五所川原店 ●カブ・マルシェ江陽店

〈ベニーマート〉SM

- 松原店 ●黒石店 ●観光通店

〈メガ〉DgS

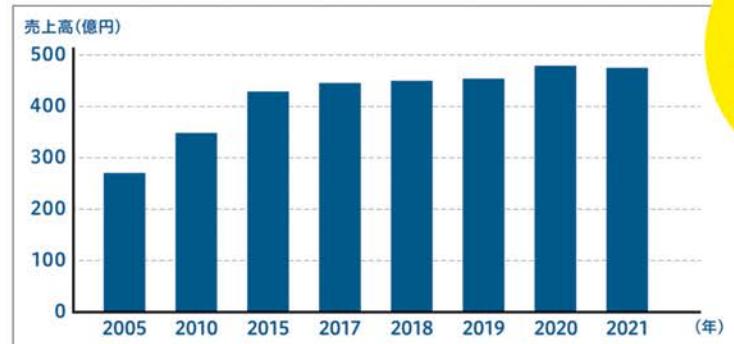
- 東青森店 ●小柳店 ●勝田店 ●石江店
- 黒石店 ●土崎店 ●仁井田店 ●能代中央店
- 城東北店 ●弘前駅前店 ●富田店 ●新国道店

〈調剤薬局〉

- メガ調剤薬局 弘前店(カブセンター弘前店内)
- メガ調剤薬局 神田店(カブセンター神田店内)
- メガ調剤薬局 東青森店(ドラッグストアメガ東青森店内)
- メガ調剤薬局 土崎店(ドラッグストアメガ土崎店内)
- メガ調剤薬局 富田店(ドラッグストアメガ富田店内)



売上高の推移



ポイントカード会員数
38万人

